



「KOYAALA 通信」は、チーム・コヤアラがコヤアラ・クラブ会員に発行するニュース・レターです。年4回発行 発行日(予定) 3月1日、6月1日、9月1日、12月1日

## 第1回 コヤアラ・フォーラム開催

8月1日 東京芸術劇場会議室(東京・池袋)

記録的な暑さの続く今年の夏。ゲストスピーカーに四谷シモン氏を迎え、炎暑の8月1日の昼下がり、東京・池袋に20名ほどの方がお集まりくださいました。参加された皆様に心から感謝申し上げます。その半数以上はコヤアラ・クラブの会員の方ではありませんでしたので、「コヤアラが何を目指すか」を説明しながら、その目的を確認する良い機会ともなりました。以下、かいつまんで当日話されたことをまとめました。一部、この通信のために加筆した箇所もあります。(記録・福田望・羽関チエコ)

### ◎コヤアラ活動報告と予定

2009・5月発足／7月 ドバイ・ドールアート サポート／11月 第1回コヤアラ・フェス主催／2010・3月 「コヤアラ通信」発行開始／4-5月 世界創作人形展(丸の内丸善) サポート／10月 Art of Dolls(モスクワ) サポート／12月 第2回コヤアラ・フェス主催

### ◎コヤアラ・フォーラムとは

チーム・コヤアラの公開会議。まだスタートしたばかりでもあり、会員内外の声を広く聞いて何をすべきか、何ができるか、を考えたい。国内外の会員相互の協力で会員による提案の実行プランを作ったり、サポートしあうシステムづくりが理想。

### ◎海外の人形界事情

人形が狭義に認識されている欧米では、創作人形と呼ばれる分野はピークを過ぎ市場も冷え、作家の数も激減している。かつ、日本発の量産型BJD(球体関節人形)をきっかけにファッション・ドールのブームがおこり、世界的に人形市場の関心がそこに移行している。創作人形ではロシアの市場がめざましく活発に展開していて、日本の今までの創作人形の歩みをここ数年でまとめて反復している勢い。かつ、美術的歴史背景が豊かなので作家の独創的な表現力や技術力は素晴らしく、しばらく目が離せない状態が続くだろう。かつ、活動歴や作品の評価によって国家が身分保証する芸術家の枠に、昨年からは人形作家も含まれるようになったという。球体関節人形に関しても、それを創作に展開したのは、日本の「十八番(おはこ)」だったのが、ロシアからもユニークな作品が見られるようになってきている。

### ◎検討項目・質疑(会場とコヤアラからの提案など)

コ: コヤアラの回答・見解

#### ・「コヤアラ主催の人形展を日本各地で開催する」(会員・福岡)

コ: 例えば企画待ち状態の空いている会場の情報を全国に募って、その周辺に住む会員達のネットワークをつなげて、全国の会員に呼びかけて展示会をすれば可能性がある。しかし平面作品と違って、人形展の運営管理は大変であることを覚悟しないとならない。

#### ・「コヤアラのツイッターを始める」(会員・福岡)

コ: 現状、ボランティアスタッフによるブログのメンテナンスで手一杯。すみません。ブログの方は、コメントが入ったとき、見やすくした方がよいとの指摘あり、現在検討中。

#### ・「地方で展示会開催のノウハウがない人に、アドバイスを」(会員・茨城)

コ: この件については、さらに個別に具体化できそうな提案を頂いたので、何ができるかを前向きに検討。

・「人形・オブ・ザ・イヤー」のようなものを選び出し、買い上げる。スポンサーを募り、またそれを保管・展示する協力施設も募る。(チーム・コヤアラ) 会場: 買い上げという評価でなければならないのか。

コ: まず、制作者のためにも買い上げという形で賞賛したい。市場の購入基準は時流に流されやすく、公的美術館などについても人形におけるいかほどの厳密なリサーチをした上での基準であるか疑問を禁じ得ない。人形をよく知る当事者こそ、優れた作品の評価基準を提示できるし、するべきだと考える。

#### ・「海外の展示会に参加した会員や作家の声を聞く機会を設けてほしい」(会員・東京)

コ: 可能。検討します。

#### ・「人形公募展の情報」(コヤアラ)

会場より: 北海道の「人形道展」は全国から誰が出しても良いが、他県からの応募が少ない現状なので応募は歓迎。(縫いぐるみ、和紙人形、球体関節等々様々な種類の出品がある)

#### ・「コヤアラの活動のターゲットは?」(一般・会場)

コ: プロ・アマ、人形に関わる・関わらないなどの境を超えた情報交流を目指したい。そのネットワークで、気づきにくい面白い作品や情報を得たり、優れた作品を評価していきたい。

### 発言@ランダム

#### ◎ゲストスピーカーの四谷シモン氏の発言から

・(人形展の)DMがいっぱいくるけど、「ただごとじゃない」と思うものは皆無ですね。でも、そういうものが人形だと思ってます。

・(この人形は)なんにもものを言わないけれども、非常に静かで無表情であるけれど、だけどいいなあ……それでいいと思うんですね。(人形とは)そういうもので。

・世代交代はいいんじゃないか。

・人形に身分はない。

・山本福松(二代目)の人形は普遍のかわいらしさ。「これが人形だ」と思いました。

・自分は愈々者だけど、何を作るか、ということでは、人形は作ります。同じことの繰り返しはつらいけれど、過去の作品をなぞるのはもっとつらいこと。自分にとっての新鮮さや感動が欲しい。

・(展示のセッティングに凝りすぎることに対して)作品だけでいい。人形というもののだけで充分意味がある。

#### ◎羽関の発言から

・(レナ&カツア・ポポヴァは)常に新しいものを作ってみせるということ自分を強いている。丁度ファッションショーが毎年コレクションで新しいコンセプトを見せるように、毎回違うものを出してくる、それが毎回面白い。その集中力とパワーのすごさ。

・本物そっくりを作る、生きているように作るという技術自体はやれば到達する。ではそれが(二世・山本)福松と同じくらいの人形になるかというイコールとは言えない。

・様式もあっていいものだと思う。その他にも、予算や条件のような限定条件を与えられることによって、力作・秀作が生まれることがある。限界を与えられることで、その中でいかに技量と自分のユニークさを発揮するか、目標がはっきりしてくるからだと思う。

・(ボランティアによる活動の原動力とは?)という質問に対し)自分のことでは、「あっ」と思うものものに出会う時の喜びが大きく、それが自分のエネルギーになっている。そういうものにまた出たいと思ってやっています。だからいつまでも出会えないと、きついですね。

## ロシアの球体関節人形事情-1

アンナ・モチャロヴァ

革命前のロシア帝国はヨーロッパ同様、フランスのジュモーやブリュ、ドイツのマルセルやケストナーの人形が入っていたけれども、ズラブレフ社やコチェトコブ社による自国製のベベ・ドールを有していました。それは、富裕層の楽しみのためのものではあったでしょう。

ソ連邦時代になり、球体関節のブルジョアファッションの人形は、労働者層に相応しくないとの理由で認められなくなりました。

ここ数年では、インターネットのおかげで人形好きにとって豊富な情報が得られるようになりました。その多くが、アジアの球体関節人形 (ABJD=Asian Ball Jointed Dolls) に関するものですが、それは驚くことではありません。インターネットのいくつかのフォーラムを見ると、ロシア人は日本の人気作家の恋月姫や佐藤美穂といった独創的なアートに惹かれ、吉田良は伝説的に語られています。でも経済事情から、彼らの作品を購入するのは夢のまた夢なのです。この観点からいうと、日本製のボックスや韓国や中国の ABJD は現実的な救済措置であり、そればかりでなくアニメファンにとっても好みの想像上のキャラクターを自分で作ることが可能な実体なのです。もうひとつの重要な点は、遊ぶことができること。いかに魅力的な人形であっても、壊れやすければ、ガラスケースに入れて眺めることしかできません。しかし濡れて大丈夫な人形ならば、機能的ばかりでなくそれを使って遊ぶことができるので、楽しみ方は全く異なるものになります。

今日では ABJD のファンが増え、DoA (Den of Angels) の話題に徹したオンラインの情報サイト (英語) や、ロシア最大の愛好会 BJD Club (bjdclub.ru) があります。

(続)

※アンナ・モチャロヴァは、チーム・コヤアラのモスクワ・スタッフです。

## 紙上展 works of members



佐々木英俊

「制多迦童子」

布、木毛、粘土、和紙 50cm

大相撲の若乃花をモデルにしました。

【講評】

前回までは子供の人形でしたが、今回は筋肉隆々の体型で、この素材と技術の持ち味がうまく生きてます。鎌倉時代の仏像を思わせるような足の筋肉の張りが腕の所作や顔の表情にうまくつながっていると思います。難を言えば、首の付け根などの処理、髪の色と材質や衣装のキメに違和感を覚えるところでしょうか。

DM制作が通信発行に間に合わない! という方に  
チーム・コヤアラの2つのサービス

●印刷物制作代行サービス (通信同封用)  
展示等の宣伝印刷物の通信同封分をチームコヤアラが代行して制作・印刷し、「コヤアラ通信」に同封いたします。(デザインは A5 判に基本的なレイアウトになります。)  
ご希望の方は下記詳細等をご準備の上で、発行月の前月 20 日迄にチームコヤアラにお申し込みください。  
<展示、イベント名/日程/出品作家名/会場住所、地図/画像データ (写真可)/コメント>印刷物作成及び同封料金:  
会員 5000 円・非会員 7000 円  
※コスト高のため、価格改定させて頂きました。

### ●発送代行サービス

ご自身でご用意された DM ハガキ、または封筒に入った印刷物をコヤアラ会員宛に発行いたします。  
発送代行サービス料金: 会員 3000 円・非会員 5000 円 (切手代別途)  
発送代行サービスのお申し込みは随時受け付けますが、繁忙期はお受けできないこともありますので、事前にお問い合わせください。  
\*ともに、人形に関連する展覧会・イベントのご案内印刷物のみを対象としております。内容によりお断りさせて頂く場合もありますので、予めご了承ください。

今回のコヤアラ通信はいかがでしたでしょうか?

フォーラムで話し合わせたことに対し、皆様の情報やご意見、実現につなげていくためのさらなるご提案をお待ちしております。



### ●第2回コヤアラ・フェス 出品者募集中!

高円寺の「自由帳ギャラリー」で、今年も開催いたします!  
テーマ:「toy doll」 ~ 「遊び」の心で作られる小さな人形や小物~  
会期: 12月23日(木) ~ 26日(日)  
搬入 22日、搬出 26日  
会場: 自由帳ギャラリー (東京・高円寺)  
条件: 出品枠 30名、審査あり 定員に達し次第締め  
出品料 2000 円・売上マージン 20%  
申込方法: 手紙・ファックス・メールでチーム・コヤアラまでご連絡ください。  
折り返し案内書・申し込み書をお送りいたします。

高円寺は、古い物と新しい物がバランスよく交わっていてどんな物でも受け入れてくれるオープンな街。「自由帳ギャラリー」のある通りは可愛いカフェやボックス貸しのお店がある通りなので、小さくて可愛い雑貨やアートが好きで、目の超えた若い人が多く集まります!

### ●Art of Dolls (モスクワ) 審査結果

10月にモスクワで開催される第1回国際モスクワ展「Art of the Doll」における「日本作家部門」チーム・コヤアラ会員枠にたくさんの方から力作の応募が寄せられました。どうもありがとうございました。そのなかより厳正な審査の結果、残念ながら定員の5名には達しませんでした。以下の方をチーム・コヤアラ会員枠でご紹介させて頂くことになりました。(順不同・敬称略)  
レブンクル (岡山)・長岡哲生 (鳥根)・尾花智子 (東京)・稲田敦 (長野)

### ●これからの海外での人形関連イベント

第5回国際ドール・サロン (モスクワ)  
10月6日~10日  
会場: "Timidly" Tishinskaya square 会場面積 1500m<sup>2</sup>  
開催団体: IADA (国際人形作家協会・本部モスクワ)  
http://moak.ru/portal/index.php  
ショッピングセンターにある展示会場を使って、ロシアで定番となったモスクワのドール・ショー。アンティーク・ドールや材料、人形教室、ドールハウス、創作人形などのブースが出品。創作人形コンテストと、コレクタークラブによる特別展も同時開催。優秀作品には「メガ・スター」賞が贈られる。

第1回国際モスクワ展「Art of the Doll」  
10月29日~31日  
会場「マネージ」(ロシア・モスクワ) 会場面積 5600m<sup>2</sup>  
主催: 人形芸術の発展と促進をサポートする文化財団「DOLLS OF THE WORLD」(本部モスクワ)  
www.dollmanege.ru  
世界最大のドール・ショーをめざすこの展覧会はアンティークから現代創作人形まで、すべてのジャンルや表現の人形を展示。「ドール・サロン」を立ち上げたスタッフがサロンから分離、サンクト・ペテルブルグで「ドール・タイム」実績を重ね、改めてモスクワで立ち上げる新プロジェクトの第一回目。26カ国からの人形作家、美術館、ギャラリー、個人コレクションが集結。主催者による「日本作家部門」は羽関チエコがキュレーション担当、チーム・コヤアラも協力いたします。  
日本部門出品者 (敬称略・順不同): 山口景子・矢部藤子・山吉由利子・河野滋子・長谷川裕子・柴倉一二三、チームコヤアラ会員選抜作品

### コヤアラ・クラブ入会条件

年会費 2000 円

年4回 (3・6・9・12月) のチーム・コヤアラのニュースレターとDM便が届きます。

### お申し込み方法

年会費 2000 円を以下の方法でご送金ください。

【郵便振替】 通信欄に「コヤアラ入会」とお書きください。

送金先 「口座番号」 00140-7-358370 「口座名」 チーム・コヤアラ

\*ご入金が確認できたらチーム・コヤアラよりハガキで受領証と会員証を兼ねたお知らせをお送りし、次の号から「コヤアラ通信」をお送りします。更新時には、有効期限内の最後の号を発行するときに、更新のお知らせを同封いたします。

### DM同封希望の方 (発行月から3ヶ月の間に展覧会を予定されている方)

事前に枚数などお問い合わせの上お申し込みください。同封DMは発行月の前月 20 日にチーム・コヤアラ必着でお送りください。

同封料金 : コヤアラ・クラブ会員 2000 円 一般 (非会員) 3000 円

### 紙上展応募の方

会員の方の人形の自作品の写真を受け付けております。

3号×切 2010年11月10日 (必着)

以下を下記まで、郵送かメールでお送りください。

作品写真 2~3 点 (全体・アップ・裸形) サイズ: ハガキ大。

「会員番号」「作家名」「タイトル」「素材」「サイズ」他、簡単なコメントなど。

\*何点でも応募できますが、誌面の都合上掲載はお一人1点になります。

\*応募書類はウェブ上で公開されることもあります。(講評は紙面のみ掲載)

\*応募書類は返却いたしません。

### 個人情報について

頂いた個人情報はチーム・コヤアラの業務委託を受ける HAZEKI office が厳重に管理します。名簿はチーム・コヤアラのニュースレター発送に使用させて頂いた他、チーム・コヤアラの趣旨に沿って DM クラブ会員にとって有意義と判断した情報を伝達する以外には一切使用せず、チーム・コヤアラ以外の第三者が閲覧、使用することは一切ありません。

### 各お申し込み・連絡先

チーム・コヤアラ

東京都東村山市久米川町 3-27-57 HAZEKI office 内

TEL 042-395-7547 (担当 ハゼキ)

FAX 042-395-7975

URL <http://www.ab.auone-net.jp/~koyaala/>

Email [team\\_koyaala@yahoo.co.jp](mailto:team_koyaala@yahoo.co.jp)

KOYAALA 通信 編集責任者 羽関チエコ (HAZEKI office)

©KOYAALA TSUSHIN 2010, printed in Japan 本紙記載の記事・写真の無断使用・転載を禁じます。